

建設物価 土木工事費指数[®]の概要

1. 土木工事費指数とは

建設物価 土木工事費指数（以下、「土木工事費指数」という）は、土木工事にかかる費用の変動を示す物価指数の一種であり、工事費の構成要素である材料費や労務費などの価格変動を時系列で評価し算出される。これは、工事費の動向を把握や、異なる時点間での工事費の比較を可能にする指標である。

2. 土木工事費指数の構成

（1）土木工事費指数の体系

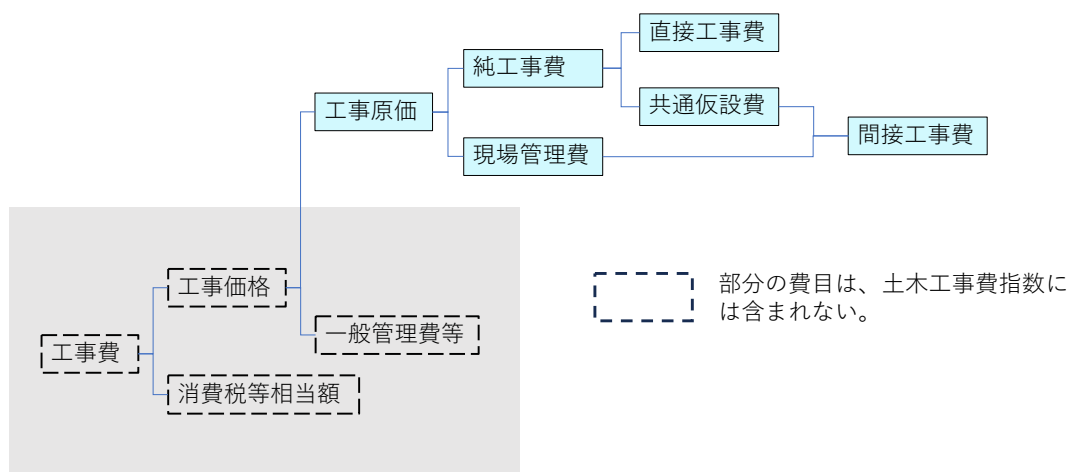
土木工事費は、一般管理費や利益など工事費を構成する一切の費用を含む契約工事額として把握されるほか、工事原価・純工事費の段階で捉えることができる。土木工事費指数は、図－1に示すとおり、一般管理費や利益を含まない工事原価までの範囲を対象として指数を算出している。

（2）土木工事費指数の種類

土木工事費指数は、「工事原価」および「直接工事費」の各段階において作成されており、それぞれの指数について、「都市別」、「工事種類別」、「工事規模別」の分類で算出している。

算出対象の都市は、札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇の10都市である。

工事種類は、公共事業全体、治水、道路全体、道路改良、道路舗装、道路橋梁、道路補修、下水道、災害復旧の9種類に分類される。工事規模は、工事金額に応じて1,000万円未満、1,000万円以上、5,000万円以上、1億円以上、5億円以上、10億円以上、20億円以上、規模合計の8区分で構成されている。



3. 土木工事費指数の作成方法

(1) 土木工事費指数の算式

土木工事費指数は、工事原価を構成する各費目の工事費ウェイトと、それぞれの費目に対応する価格指数を用いて、以下のラスパイレス算式により算出している。また、「直接工事費」についても、同様に各費目の工事費ウェイトを用いて指数を算出している。

$$I_t = \sum_{i=1}^n W_0^i \cdot U_t^i$$

$I \cdots$ 土木工事費指数	$0 \cdots$ 基準時
$W \cdots$ 費目ウェイト	$t \cdots$ 比較時
$U \cdots$ 費目価格指数	$I \cdots$ 各費目

(2) 使用データ

土木工事費指数の計算に用いる各使用データの詳細は以下のとおりである。

① ウェイト

ウェイト設定に使用したデータは、産業連関構造調査（国土交通省）のうち「本工事費投入調査」「独立行政法人等土木工事費投入調査」「土木工事間接工事費投入調査」や、別途収集した資料を使用した。

② 価格指数

材料の価格指数は、「建設物価 建設資材物価指数[®]」のうち該当する工事種類の指数を採用した。材料以外の価格指数は、官公庁公表の諸統計などの結果を用いている。

(3) 土木工事費指数の作成地域

土木工事費指数は、前述のとおり、都道府県庁所在地の都市を対象地域とした地域別の価格指数を用いて作成されており、主要 10 都市（札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇）における指数を算出している。

(4) 基準年等

土木工事費指数は、2015 年（平成 27 年）を基準年とし、2015 年平均を 100 とした指数である。土木工事の仕様は年々変化するため、指数が実態に即したものとなるよう、約 5 年ごとの改定を計画している。ただし、公的統計の公表時期との関係から、必ずしも計画どおりに改定できるとは限らない。

4. 土木工事費指数の計測時期

2015 年（平成 27 年）1 月から毎月とする。ただし、価格指数に用いる官公庁の諸統計公表時期により、最新月は暫定値となる。表記は該当年冒頭に provisional の頭文字「P」を付す。また、暫定値が改訂された場合は revised の頭文字「r」を付す。